

■第4回印西市都市マスタープラン策定委員会の意見概要と対応方針

＜策定委員会＞

日時：令和2年8月11日(火) 13:30～

場所：印旛支所

【議題】

- ①印西市都市マスタープラン全体構想（案）について
- ②印西市都市マスタープラン地区別構想（案）について

《主な意見と回答》

全体構想について		
主な意見（要旨）	回答（要旨）	対応方針
<p>井関委員</p> <p>P3：まちの歴史を把握することが大事だと思うので、古い地図を入れた方が良い。</p> <p>P27：国道464号を重要景観として位置付けるのは良いが、縦線が弱いのではないかと。木下と千葉ニュータウン中央を結ぶ線が特に重要であり、景観をネットワークで考えられないか。多くのネットワークを取り入れるのではなく、特に千葉竜ヶ崎線（コスモス通り）の位置づけが重要である。</p> <p>P38：都市づくりの基本理念は、住むことだけに特化せず、多様な人々の充実した時間やいきいきとした時を過ごせるまちづくりの考えなども入れた方が良いのではないかと。</p> <p style="text-align: center;">（井関委員による資料配布）</p>	<p>P3：古い地図の掲載については、持ち帰って検討する。</p> <p>P27：景観計画を見直しする場合には、位置づけの検討を行う旨を、担当に伝える。</p> <p>P38：持ち帰って検討するが、取り込む場合は井関委員と調整させていただきたい。</p>	<p>P3：古い地図の掲載については、生涯学習などが整理している資料に掲載されているため、本計画では掲載しない。</p> <p>P38：都市づくりの基本理念には、コロナ禍における状況を踏まえ、多様なライフスタイルを実現する観点を追記する。</p>
<p>堀川委員</p> <p>P10：図10で抜けている年があるのは何故か。</p> <p>P11：入込客の状況のグラフを</p>	<p>P10：商業統計調査が行われた年を掲載している。</p> <p>P11：次期計画では来街者の回</p>	<p>—</p>

<p>どう利用したいのか。 酒々井町はモールができたことが入込増の大きな要因なのではないか。そうであれば、こういうのを印西市に作れば良いのではないか。</p>	<p>遊性を考慮し、魅力ある都市としていきたい考えを記載している。酒々井はアウトレットが要因と聞いているが、市街化区域・調整区域と区分がある中で、関係機関及び地権者などと調整・整合が図られた上、都市計画制度に基づき、事業者誘致できればと考える。</p>	
<p>堀川委員 P21：ふれあいバスは含まれるか。</p>	<p>P21：含まれる予定である。別部署で策定しているので後程掲載予定。</p>	—
地区別構想について		
主な意見（要旨）	回答（要旨）	対応方針
<p>井関委員 1) 市内には文化財が県市合わせて50あるが、地域の文化財の記載が少ない。 また、場所の記載だけでなく伝統行事や祭りを列挙すべきである。 ボルダリングやゴルフなどの現在進行形の行事も計画に位置付けてはどうか。 2) 千葉竜ヶ崎線の拡幅については、千葉竜ヶ崎線には文化財が多いので、旧文化と新文化をつなぐ新しい景観ネットワークにしてはどうか。 3) UR跡地や、木下の工場跡地の活用は大事だが、P25に「行政機能の充実を図る」とある。行政機能だけでなく多様な機能としてまちの活性化に繋げてほしい。</p>	<p>1) 持ち帰って検討する。  2) 全体構想に人・モノを繋ぐネットワークの考え方を記載しており、その中には景観や文化など、地域の資源も含まれていると認識している。 3) 検討段階なので、意見を関係部署に伝える。</p>	<p>1) 指定文化財一覧とコメントを全体構想1-1(9)として記載する。行事については本計画には記載しない。</p>
<p>堀川委員 1) P50：公共交通は鉄道とバス</p>	<p>1) 「バスなど」の「など」につ</p>	

<p>だけか。道路だけでなく、自然を壊さない高架のモノレールなども考えてほしい。</p> <p>2) 地区別構想の中で、開発する拠り所は地区住民からの声か、それとも全体計画から降りてくるものなのか。</p> <p>3) 東京に住んでいる人が、都内では3密から逃れられないので東京から逃げたいと言っており、そういう需要はあるのではないか。ゆったりと安全な都市として、都心から住民を誘致してはどうか。計画では「災害」としかカテゴリとして書かれていないが、そうしたニーズを取り入れ移住という考えを取り入れまちを発展させてはどうか。</p>	<p>いては、継続的に検討していきたい。</p> <p>2) 都市マスについては、アンケートを基に全体構想を策定しており、それに合わせて地区別構想を策定している。</p> <p>3) 地域資源などを活かし、市の魅力を上げて東京や神奈川の方にPRしていきたい。コロナ禍や感染症に対応するまちづくりについては、国でも検討しているが、都市マスにどう反映できるかは継続的に検討していきたい。</p>	<p>3) ご意見を踏まえ、コロナ禍における状況を取込んだ文言を追記する。</p>
<p>小幡委員</p> <p>1) 文化財として、樹木の認定制度が必要なのではないか。</p> <p>2) 船穂地区の松崎工業団地は一杯なので、宗像地区に第二工業団地を計画してはどうか。職住近接が大事である。</p>	<p>1) 景観条例に基づく景観重要樹木という制度があり運用している。</p> <p>2) 市街化区域・調整区域と区分がある中で、地権者のご理解いただける方向性が見出せた際には、都市計画制度に基づき、土地利用できるような記載となっている。</p>	<p>—</p>
<p>小名木委員</p> <p>1) 12 地区の分け方はどのような考えに基づくものなのか。</p> <p>2) 木下工場跡地は既に計画が</p>	<p>1) 12 地区は現行計画の区分を踏襲しており、合併前の自治体を基本に、コミュニティや特性に応じて区分している。また現行計画を踏襲することで、当時との比較が容易であることから、現行計画と同じ地区区分を採用した。</p> <p>2) 売買契約上、必要な樹木を残</p>	<p>—</p>

<p>決まっているのか。できるだけ住民の声を聴いて計画に反映させてほしい。跡地を活用して、地域の良いところを活かしつつ、地域を活性化させることが何とかできないか。住民も協力する。</p>	<p>し、建物を壊すという条件となっており、取り壊し作業が行われている。ご意見は担当課に伝える。</p>	
<p>堀川委員</p> <p>1) 全体構想 P39 : SDGs の用語解説を入れてほしい。</p> <p>2) 人・モノをつなげるネットワークの形成とあるが、少子高齢化となったときに、高齢者は車の運転に不安がある。単に道路を作るのではなく、地域内など小さな移動のための準歩道のようなものも検討してほしい。すぐにはセットバックなどできないので、予め考慮して計画を進めてほしい。</p>	<p>1) 資料編として用語解説を入れる。</p> <p>2) ICT の活用に基づきまちづくりがなされていくと考えている。</p>	<p>—</p>

## ■第5回印西市都市マスタープラン策定庁内幹事会の意見概要と対応方針

### <幹事会>

日時：令和2年9月28日（月）～10月5日（月）

場所：書面開催

### 【議題】

- ・第4回策定庁内幹事会、本部会及び策定委員会での意見と対応について
- ・次期印西市都市マスタープラン（案）について

### ≪主な意見と回答≫

次期印西市都市マスタープラン（案）について		
主な意見（要旨）	回答（要旨）	対応方針
P8 下から6行目及び2行目「千葉ニュータウン」の文言の後に「事業」の文言を入れてはどうか。		・ご指摘のとおり修正する。
P9 ◇書き出しの5か所目 ◇の下にアンダーラインが表示されている。 5か所目の内容の最後「子育て世代の割合が増加しています。（図5参照）」とあるがP11に図5の表示が漏れている。		・ご指摘のとおり修正する。
P11 人口ピラミッドは、上段が平成20年、下段が平成30年となっており、P16 自治体別観光入込客の状況は、上段が平成30年、下段が平成24年となっている。ページにより新旧の順序が逆転しているが、意味はあるのか。なければ統一した方がよい。		・ご指摘のとおり統一する。
P12 「平成29年現在は約274億円」の「現在」を削除しても問題ないか。		・ご指摘のとおり削除する。
P12 ◇の6か所目内容の最後「太陽光発電～転用が増えています。（図7・8参照）」とあるが参照に表4を追記した方がいいのでは。		・ご指摘のとおり修正する。
P13 「分類不能」とはどのようなものか。注釈があってもよいのではないか。「その他」と言い換えは可能か。		・「分類不能」とは、主として調査票の記入が不備であり、いずれに分類すべきか不明の場合又は記入不詳で分類しえないものです。

<p>P13 表2の※増減率の算出方法が不明確です。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年から平成22年にかけての増減率、平成22年から平成27年にかけての増減率をそれぞれ算出し、その平均値を記載していません。</li> </ul>
<p>P15 図10の最下段 「ほかの調査年と調査方法」 →「ほかの調査年は調査方法」</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘のとおり一部修正する。</li> </ul>
<p>P16 図11と図12</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出典とキャプションの年が違うがよろしいか。</li> <li>できたら、印西市の棒グラフを浦安市から離してほしい。差が目立つ。</li> <li>浦安市や市川市、船橋市は、東葛飾地域でない。棒グラフは黄色でよいか。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>出典については年を削除する。</li> <li>印西市がより目立つように左端に記載し、上図については降順に並べています。</li> <li>千葉県観光入込調査報告書では、浦安市・市川市・船橋市は東葛飾地域に分類されています。</li> </ul>
<p>P18 図13 凡例の四角の枠が小さく、見にくくないか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘のとおり修正する。</li> </ul>
<p>P20 ◇書き出しの1か所目 15.4%とあるが表6に表示がない。 ◇書き出しの2か所目 7割を占めるとあるが表6に表示がない。 ◇書き出しの6か所目 3割が農用地区域とあるが表8に表示がない。 ◇書き出しの9.10.11か所目 (表9参照)があるべきでは。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘のとおり修正する。</li> <li>ご指摘のとおり修正する。</li> <li>表中には農用地区域しかないため、そのままとします。</li> <li>ご指摘のとおり修正する。</li> </ul>
<p>P27 ◇書き出しの1か所目 m、kmの表記が混在するがいいのか。表10参照となっているが、なお以降の状況の読み取りが難しい。  ◇書き出しの10.11.12か所目 参照の記載がないがいいのか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>実延長はメートル表記としています。文章についてはより分かりやすく修正する。</li> <li>参照は、図及び表の場合に使用しています。</li> </ul>
<p>P40 ◇書き出しの1か所目 参照はないが、景観計画などに触れなくていいのか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘を受け、文章を修正する。</li> </ul>
<p>P43 2行目 [問①単一～方法はP28を参照]とあるが不用又はP41では。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘のとおり一部修正する。</li> </ul>

<p>P50 下から3行目 空き家の現況としては、千葉ニュータウン中央地区が市内3番目に多く、新市街地でも入居開始が早い地区は空き家が増えているため、既成市街地の後に「など」と追加してはどうか。</p>		<p>・ご指摘のとおり修正する。</p>
<p>P52 2-1 都市づくりの基本理念 (1) 将来都市像  将来都市像として「住みよさ実感都市 ずっとこのまち いんざいで」を掲載していますが、この将来都市像は印西市総合計画で定めているものですので、印西市総合計画からの引用である旨の文章を入れていただきたいと考えます。</p>		<p>・引用である旨の文言を追記する。</p>
<p>P57 (1) 拠点  ○駅圏・都市交流拠点…木下・大森地域、千葉ニュータウン中央地域  ○駅圏・都市交流副次拠点…小林地域、印西牧の原地域、印旛日本医大地域  基本構想においても「木下、小林、千葉NT中央、印西牧の原、印旛日本医大」と5つの駅圏を示していることは同様ですが、基本構想は5つの駅圏を同格としており、都市マスで「交流拠点」と「交流副次拠点」と区別している点が異なります。  しかし、その説明が強く「交流拠点を重視、優先」する内容ではなく、区別する必要性を感じません。今後、具体的に整備手法が「拠点」と「副次拠点」で変わるのでしょうか。</p>		<p>・印西都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（千葉県）に合わせて、駅圏を拠点分類しています。  また、都市マスでは、「拠点」を本市の中心となる市街地としてとらえ、より広域的な拠点として位置付けています。一方、「副次拠点」については、主に周辺地域の生活を支える拠点として位置付けています。</p>

<p>○地域拠点…平賀学園台、中根・笠神周辺</p> <p>基本構想では、「駅圏のほか、各地域の生活の拠点として住宅や公共施設などが一部集積する地域を「地域生活拠点」として位置づけ、「永治、船穂、本埜、宗像、六合、平賀学園台」と6か所を示し、最寄りの駅圏や公共施設などの地域間を結ぶネットワークの強化を図るとしてはいますが、都市マスでは、平賀学園台、中根・笠神周辺の2か所を示しています。これは明確に整合が取れていないと考えます。</p> <p>基本構想では市街化区域を「都市環境ゾーン」、市街化調整区域を「自然共生ゾーン」と位置づけ、自然共生ゾーンにおいては、「それぞれの地域の特性を活かした暮らしと交流の機能の向上を図っていく」としてはいます。地域生活拠点の6か所の内、平賀学園台以外は市街化調整区域、すなわち「自然共生ゾーン」ですが、最寄りの駅圏や公共施設などの地域間を結ぶネットワークの強化（これは道路も含みます）を図り、交流の機能向上の必要性を示すことで、基本計画、実施計画の施策につながると考えています。</p> <p>都市マスにおいては、平賀学園台が市街化区域、本埜・笠神周辺は市街化調整区域であります。ほかの市街化調整区域の拠点となりえる地域は本埜・笠神地区の記載である「日常的な暮らしを支える機能を有する地域拠点の形成を図る」のは不要でしょうか。</p> <p>この6か所と2か所の差異について、明確な説明が可能であれば、整合をとる必要はないと考えます。</p>		<p>・ご指摘のとおり、地域拠点は平賀学園台のみとし、中根・笠神周辺を含めた集落地（公共施設などがある程度集積しているエリア）を、生活形成保全エリアとして位置づけます。</p>
--	--	--



<p>P58</p> <p>○産業・業務拠点…鹿黒南、松崎台、高花、牧の台、泉野、いには野、みどり台、つくりや台</p> <p>基本構想では、「アクセス性を活かし、本市の発展をけん引する産業機能を集積させる拠点として、鹿黒南、みどり台・つくりや台、松崎工業団地の3か所を示し、「産業拠点」としての形成を図るとしており、駅圏との重複は避けていますが、都市マスでは、8か所を示し、駅圏とも重複しています。これは基本構想と整合を図るべきであるとはいえませんが、「高花」を位置付けるのであれば、木下、大森などの在来地区を位置づけてもよいのではないかと考えます。</p>		<p>・本計画で位置づける産業・業務拠点については、工業系の用途地域が指定されている箇所を主に位置づけており、今後さらなる産業・業務施設の充実を目指すものです。</p>
<p>P58 緑の総合拠点</p> <p>都市公園の例示において、北総花の丘公園、印旛沼公園と県立公園も示していますが、「適切な維持管理、機能の拡充に努める」と記載してよいのでしょうか。</p>		<p>・ご指摘のとおり、現在検討中の緑の基本計画記載の文言に修正する。</p>
<p>P58 (2) ゾーン</p> <p>○都市環境ゾーン と ○自然共生ゾーン</p> <p>基本構想と記載の差異がありますが、基本構想、都市マス共に市街化区域と市街化調整区域を示しているため、特に問題はないと考えますが、景観の保全・活用が自然共生ゾーンだけの記載であり、都市環境ゾーンに景観の記載がなくてもよいのでしょうか。</p>		<p>・ご指摘のとおり、都市環境ゾーンに都市景観に関する記述を追記する。</p>

<p>P58 ○緑の総合拠点</p> <p>総合公園である北総花の丘公園や松山下公園、印旛沼公園は本市を代表する都市公園となっているため、緑の総合拠点として位置付け、本市を代表する緑として適切な維持管理、機能の拡充に努めます。</p> <p>→「総合公園である北総花の丘公園・松山下公園・印旛沼公園は本市を代表する緑です。また、木下交流の杜周辺は同公園や広場、木下貝層を含んだ木下万葉公園や竹袋調整池などの緑が近接しています。これらの緑も、本市を代表する緑として市民に親しまれる場であることから、これらを緑の総合拠点として位置付けます。」(9月24日時点の印西市緑の基本計画検討案より抜粋)に修正してはどうか。</p>		<p>・ご指摘のとおり修正する。</p>
<p>P59 ○地域間ネットワーク</p> <p>基本構想では、公共施設や地域生活拠点などを結ぶ道路などの交通網、また、各地域の人と人をつなぐ交流ネットワークを「地域交流軸」としています。基本構想と都市マスで各拠点の設定が異なることから、P61の将来都市構造図と基本構想の土地利用基本構想図と異なるものとなっています。具体的には、基本構想では船穂地区と宗像地区と六合地区を結ぶ地域交流軸を示していますが、都市マスの将来都市構造図の地域間ネットワークにはありません。これは、基本構想で「公共施設や地域生活拠点などを結ぶ道路などの交通網」を「地域交流軸」としていることと整合が取れていないと考えます。基本構想で示している地域交流軸が都市マスの地域間ネットワークにない理由が必要ではないでしょうか。</p>		<p>・本計画における地域間ネットワークについては、現道や計画道路を主に位置づけています。</p>

<p>P59 ○水と緑のネットワーク</p> <p>本市の良好な斜面林や農地、水辺空間が残り、緑の連続性の確保・保全が求められる軸を水と緑のネットワークとして位置付け、緑の連続性の確保に努めます。</p> <p>→「本市の良好な斜面林や農地、水辺の環境や、市街地の公園や街路樹などによって緑の連続性が確保されており、今後も保全・活用が求められる軸を、水と緑のネットワークとして位置付けます。」（9月24日時点の印西市緑の基本計画検討案より抜粋）に修正してはどうか。</p>		<p>・ご指摘のとおり修正する。</p>
<p>P60 印旛日本医大駅の写真</p> <p>P66の「千葉ニュータウン中央駅周辺の戸建て住宅地」と同じ写真になっている。60ページの写真は少なくとも印旛日本医大駅の写真ではない。</p>		<p>・ご指摘のとおり修正する。</p>
<p>P61 将来都市構造図</p> <p>基本構想の土地利用基本構想図と比較しますと、5つの駅圏を「交流拠点」と「交流副次拠点」と分けている点、地域拠点などの拠点設定、これを結ぶ地域間ネットワークの有無において、大きな差異があります。いずれも印西市の将来の姿を示す図面であり、差異については明確な理由が必要であると考えます。基本構想策定所管課としましては、印西市基本構想と印西市都市マスタープランの将来土地利用の図面については、整合性があり、かつ、都市マスの図面はより詳細なまちづくりの専門計画としての意図があるべきと考えます</p>		<p>・基本構想と整合性を図る観点から、再度将来都市構造を見直しし、拠点等を再配置します。</p>
<p>P61 将来都市構造図</p> <p>緑の総合拠点（策定中）、水と緑のネットワーク（策定中）</p> <p>→緑の総合拠点（検討中）、水と緑のネットワーク（検討中）に修正してはどうか。</p> <p>なお、検討中の緑の将来像図があります。</p>		<p>・ご指摘のとおり修正する。</p>

<p>P79 (6) ごみ処理施設に関する方針 必要に応じて然るべきタイミングで環境アセスや整備計画等と並行して、都市施設として都市計画決定を行うため、「<u>ごみ処理基本計画などに基づき、都市計画制度による手続等も含めて、組合が進める一般廃棄物中間処理施設の・・・</u>」という、表現を追加してはどうか。</p>		<p>・ご指摘のとおり修正する。</p>
<p>P88 地区別構想の図 地区区分千葉ニュータウン印西牧の原地区と宗像地区の境界について、東の原一丁目とつくりや台一丁目の境界（主要地方道千葉臼井印西線）が地区区分界になると思われるが、図では境界が西にずれている。</p>		<p>・ご指摘のとおり修正する。</p>
<p>P88 P87の地区区分中の①～⑫のを図中に追記してはどうか。</p>		<p>・P88の図に番号を追記する。</p>
<p>P89 以降の②人口等の割合の参照は示さなくていいか。</p>		<p>・人口の割合が読み取れるよう市全体の人口を追記する。</p>
<p>P90 ④市街地の整備状況 「都市施設の<u>整えられた</u>」を「都市施設を<u>整えた</u>」ではどうか。</p>		<p>・ご指摘のとおり一部修正する。</p>
<p>⑤都市施設の整備状況 市道00-031号でよろしいか。</p>		<p>・ご指摘のとおり修正する。</p>
<p>P92の「(2) 地区の課題」の「<b>■本市の北部の玄関口にふさわしい都市づくりの推進</b>」の1項目目について、「<u>空き店舗や公共用地の活用を視野に入れ・・・</u>」とあるが、既存の公共施設用地の活用も含む意味に取れてしまう。 そのため、P47の「1-3 都市づくりの主な課題」の「<b>◆適正な土地利用の誘導</b>」の表記と整合を図り、P92の当該箇所を以下のとおり修正した方がよいのではないか。 (修正前) 「・・・。そのため、空き店舗や公共用地の活用を視野に入れ・・・」 (修正後) 「・・・。そのため、空き店舗や<u>未利用となっている公共用地</u>の活用を視野に入れ・・・」</p>		<p>・ご指摘のとおり修正する。</p>

<p>P94の「(4)地区の都市づくりの方針」の「■商業・業務地」の「○行政機能の集積・商業機能の充実による市北部の玄関口にふさわしい都市空間の創出」の1項目目について、上記と同様に修正してはどうか。</p> <p>(修正前) 「・・・充実させるために、空き店舗や公共用地の活用を視野に入れ・・・」</p> <p>(修正後) 「・・・充実させるために、空き店舗や<u>未利用となっている公共用地の活用を視野に入れ・・・</u>」</p>		<p>・ご指摘のとおり修正する。</p>
<p>P94 木下・大森地区の土地利用方針 20行目後に「公共施設の集約化などを基本として、木下駅圏のにぎわい創出や利便性の向上」などの言葉を追記してはどうか。</p>		<p>・ご指摘のとおり修正する。</p>
<p>P112の「(4)地区の都市づくりの方針」の「■商業・業務地」の「○駅圏・都市交流拠点にふさわしい都市機能の充実」の2項目目について、 「(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備基本計画」の施設コンセプトに合わせ、以下のとおり修正してはどうか。</p> <p>(修正前) 「多様な行政ニーズに対応するとともに、<u>多世代の交流を育みにぎわいを創出するため、UR都市再生機構事務所跡地の活用については、・・・</u>」</p> <p>(修正後) 「多様な行政ニーズに対応するとともに、<u>多世代にわたる交流の場を創出するため、UR都市再生機構事務所跡地の活用については、・・・</u>」</p>		<p>・ご指摘のとおり修正する。</p>
<p>P120 牧の原地区の土地利用方針 公共施設のさらなる充実を睨み、12行目以降を下線部に修正してはどうか。</p> <p>「～立地を活かし、海外や県外の方々も含めた来街者に対応する、多様性の高い商業・業務地の集積、及び、<u>更なる市民サービスの充実を図る。</u>」</p>		<p>・ご指摘のとおり修正する。</p>
<p>120ページ 上から7行目 「<u>滝野などの住宅地においては、</u>」に修正してはどうか。</p>		<p>・ご指摘のとおり修正する。</p>

P120 戦争遺跡である掩体壕にルビをつけなくていいか。		・ルビの対象となる用語は、その用語の初出の際となっています。
P126 ■交通環境の充実 「印西市地域公共交通計画と連携」を「印西市地域公共交通計画と整合」に修正してはどうか。		・ご指摘のとおり修正する。
P168 地区のキャッチフレーズ「～産業が共生するまち」とあるので、下段に産業を想起するイメージ写真を追加してはどうか。		・ご指摘のとおり追加する。
P177 地区のキャッチフレーズ「～くらしと産業を育み～」とあるので、下段に産業を想起するイメージ写真を追加してはどうか。		・ご指摘のとおり追加する。
P182 P185 の地区のキャッチフレーズ「～自然の恵みが～」とあるので、⑥の地域資源などに白鳥飛来地をふれなくていいか。		・自然の恵みについて、写真の追加掲載を検討します。
P191 の「(2) 効率的な都市整備の推進」の4段落目について、表題が効率的な都市整備の推進であることから、「都市整備」、「効率的」の文言を加え、以下のとおり修正してはどうか。 (修正前) 「 <u>また、持続可能なまちづくりの推進にあたっては、可能な限り税財源に頼ることのない公共サービスの提供が求められることから、</u> PPP/PFI手法による <u>積極的な民間活力の導入</u> に取組み、民間が持つ <u>専門的な知識や技術の活用により、質の高い公共サービスの向上に努めていきます。</u> 」 (修正後) 「 <u>なお、都市整備を進めるにあたっては、PPP/PFI手法による民間活力の導入に取組み、民間が持つ専門的な知識や技術を活用することにより、効率的かつ質の高い公共サービスの向上に努めていきます。</u> 」		・ご指摘のとおり修正する。
P202 P120 の掩体壕について記載しなくていいか。		・P202 の用語説明に追記する。
P208 参考資料 ○都市公園 ・街区公園：もつばら…。→主として…。に修正してはどうか。		・ご指摘のとおり修正する。

<p>P211の「OPFI/PPP」の用語説明について、本文(P191では「PPP/PFI手法」としている)に合わせて順序を変えるとともに、PPP手法は以前から導入を進めている手法であることから、「新しい」を削除し、以下のとおり修正してはどうか。</p> <p>(修正前)</p> <p>「OPFI/PPP手法</p> <p>PFIは、プライベート・ファイナンス・イニシアティブの略。公共施設などの設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという考えである。</p> <p>PPPは、公民連携：パブリック・プライベート・パートナーシップの略。公民がパートナーを組んで公共サービスの提供を行う、<u>新しい</u>公民協力の形態のこと。」</p> <p>(修正後)</p> <p>「OPPP/PFI手法</p> <p>PPPは、公民連携：パブリック・プライベート・パートナーシップの略。公民がパートナーを組んで公共サービスの提供を行う、<u>公民協力の</u>形態のこと。</p> <p>PFIは、プライベート・ファイナンス・イニシアティブの略。公共施設などの設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという考えである。」</p>		<p>・ご指摘のとおり修正する。</p>
--	--	----------------------

## ■第5回印西市都市マスタープラン策定庁内本部会の意見概要と対応方針

### <本部会>

日時：令和2年10月19日（月）10時から

場所：農業委員会会議室（別館1階）

### 【議題】

- ①第4回策定庁内本部会、第4回策定委員会及び第5回策定庁内幹事会での意見と対応について
- ②次期印西市都市マスタープラン（案）について

### 《主な意見と回答・対応方針》

①第4回策定庁内本部会、第4回策定委員会及び第5回策定庁内幹事会での意見と対応について		
主な意見（要旨）	回答（要旨）	対応方針
<p>◇第4回策定委員会において、コロナ禍の中で「都内から脱出した」という委員の話については、根拠となる調査などはあるのか？</p> <p>◇また、感染症に関しP53 5行目に1文入れられているが、基本理念以外に影響は出ないのか？</p>	<p>◇委員の意見の趣旨は、報道を見て意見したとのことである。</p> <p>◇現時点では実際に影響が出るか分からないが、国交省や社会動向を確認しながら検討する。</p>	<p>◇修正なし</p>

### 《主な意見と回答・対応方針》

次期印西市都市マスタープラン（案）について		
主な意見（要旨）	回答（要旨）	対応方針
<p>◇P52 2-1都市づくりの基本理念（1）について、「将来都市像を掲げる」とあるが、なぜ総合計画の将来都市像を都市マスの将来都市像として掲げる必要があるのか。「快適で、魅力的、持続的に発展する都市」が基本理念ではないのか？</p>	<p>◇都市計画法に、都市マスは総合計画に即すことが示されているため、将来都市像を踏襲しているが、本計画の将来都市像としては、「掲げる」のではなく、「目指す」こととして、基本理念については見せ方を再考する。</p>	<p>◇本計画における将来都市像については、総合計画における将来都市像を目指すものとし、それらを実現する観点から、都市づくりの基本理念を掲げる旨を追記しました。また、あわせて都市づくりの基本理念の部分を、より目立たせるように修正しました。</p>